

みんなで支える子どもの暮らし

札幌に住む17歳以下の子どもは、約27万人。その誰もが、可能性に満ちたかけがえのない存在です。この特集では、子どもたちが毎日安心して過ごしながら自分らしく成長していくために、私たちにできることを考えていきます。
【詳細】子どものくらし支援担当 ☎211-2947



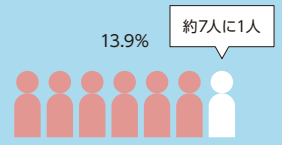
子どもたちが健やかに成長していくために

子どもが健やかに成長するためには、家庭、学校、地域など社会全体で子どもを支えていくことが大切です。

しかし、一緒に暮らす家族の人数が少なくなったり、地域のつながりが希薄になったりと、子どもを取り巻く環境は変化しており、時にはさまざまな困難に直面する場合もあります。中でも、近年問題となっているのが、経済的な要因が子どもの生まれ育つ環境に影響を与える「子どもの貧困」。こうした困難を抱える子どもを含め、全ての子どもが健やかに成長していくために、子どもに寄り添い成長を支える取り組みが必要です。

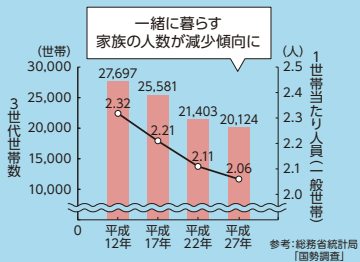
■子どもの貧困率*(全国)

平成28年に厚生労働省が行った調査において約7人に1人の子どもが経済的に困難な状態にあることが確認されています



*17歳以下の子どものうち、平均的な所得の半分未満の所得の世帯で暮らしている子どもの割合
参考：平成28年国民生活基礎調査

■札幌市の3世代世帯数と1世帯当たり人員の推移(各年10/1現在)



学校で



家庭で

みんなで子どもの未来を応援しよう!!



地域で





家族の他にも安心して話せる相手が必要

子どもの貧困対策などの活動を行っている
あかほり まさゆき
深堀 麻菜香さん
子どもの頃に家庭が経済的困難を抱えている時期があったが、現在は大学に通いながら子どもを支援する活動を行っている

当時どのような支えが必要だったと考えますか

母は明るく振舞っていましたが、苦勞や悩みを1人で背負って一番つらく感じていたと思います。私も母に心配をかけないようにしていました。子どもにも親にも、家族以外に信頼して気兼ねなく話ができる相手があると、支えになると思いますね。

子どもの頃はどのように過ごしていましたか

母と妹2人の4人家族で、子どもの頃は経済的に余裕がありませんでした。勉強は好きでしたが、塾に通うことは難しく、参考書を買うお金もなかったので、学習環境に恵まれた周りの友達が無らやましかったです。

今はどのような活動をしていますか

学習支援のボランティアや、自分の経験を話す講演などを行っています。子どもが集まる場所に行き、地域の子どもたちや保護者の方と話をすることも多いです。子どもたちを見守っていける地域づくりができればいいなと思っています。

経済的な問題をはじめ、困難を抱える子どもや家庭を支援につなげるため、市では「子どもコーディネーター」を配置しています。

子どもコーディネーターとは？
地域を巡回して子どもの暮らしの困り事などの相談を受けており、現在、試行的に、北、東、白石、豊平、清田、西区の一部地域で3人が活動しています。

さわむら すみこ
子どもコーディネーター **沢村 紀子**さん



まず大事にしているのは、子どもや家庭の状況に合わせて、ゆっくりと信頼関係を築くこと。いつでも話を聞いてもらえるという安心感を持ってもらえるように、心掛けています。自分が悩んだときは誰か信頼のおける人に相談してほしいですし、周りの方も心配事を抱えていそうな子どもに気付いたら、声を上げてほしいですね。



◀この日は児童会館の館長を訪問。心配事はないかなど、1時間ほど聞き取りを行った

相談はこちら

相談先 223-4421 (若者支援総合センター(6号)内)
受付日時 月曜～金曜10時～18時(祝・休日、年末年始、センター休館日を除く)

あいつや日頃の会話で身近な存在に

地域で日頃からあいつや何げない会話をすることが、子どもを温かく見守り、身近な存在にすることにつながります。



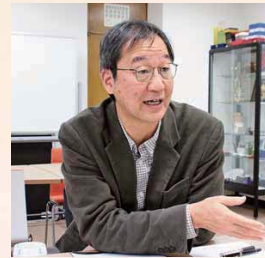
子どもの貧困をテーマとしたシンポジウムを開催

内容 北海道、札幌市、北海道大学が合同で開催。講演やパネル討論を通じて、子どもの貧困の現状を知り、支援の在り方を考えます
日時・会場 2/2(出)13時30分～16時30分。生涯学習センター(西区宮の沢1)生涯学習総合センター-ちえりあ内)
費用・定員 無料。190人
申込 電話、ファクス、ホームページ。12/20(休)から北海道子ども子育て支援課(☎206-6328、FAX232-4240、ホームページwww.har.jp.lg.jp/ybw2py6t)へ。先着
詳細 子どものくらし支援担当☎211-2947

子どもが抱える困難を知る

子どもが抱える困難はさまざまですが、このページでは、特に「子どもの貧困」について取り上げます。支援する方などへのインタビューを通して、「子どもの貧困」とは何か、そして私たちにできることを考えていきます。

子どもと家族の双方への支援が大切



北海道大学大学院
教育学研究院
まつもと いちろう
松本 伊智朗 教授
子どもの貧困問題を研究しており、市が本年3月に作成した「子どもの貧困対策計画」の検討などに携わっている

子どもの貧困問題とは

経済的な要因によって、学習する環境や機会に制約を受ける、社会的な経験が不足する、心身の健康に影響するなど、子どもの成長にさまざまな不利や困難が生じてしまうこと。社会全体で子どもを豊かに育てていくという視点を持って、どのように解決していくかを考えていくべき問題です。

市民アンケートから分かったこと

市では、平成28年度にアンケート調査を行いました。

子育て世帯の家計の状況

経済的にゆとりのない状態で子育てをしている家庭は、決して少なくないことが分かっています。「貯金がない」と答えた世帯は全体の約15%、暮らし向きが「(経済的に)苦しい」と答えた世帯は約17%でした。

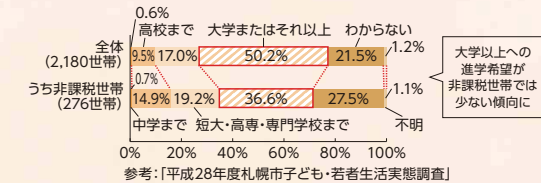
家族の暮らし

「相談相手がない」「支援制度や相談窓口の情報を知らない」「(必要なのに)病院を受診しなかった」と答えた人は、経済的にゆとりのない家庭により多く見られました。制度の情報をきちんと伝え、社会が家族を支えることが大切です。

子どもの教育や体験の機会

経済的な理由で子どもが進学を諦めたり、旅行やキャンプなどの体験の機会を持っていないこともあります。部活動を諦める子どももいました。

■どの段階まで進学したいか(小5、中2、高2の子どもが回答)

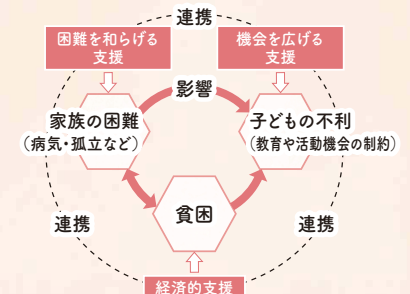


求められる対策は

経済的な支援制度を整えることはもちろん、子どもの教育を受ける機会やさまざまな体験をする機会を広げること、家族が相談できる場や地域のつながりづくりなど、いろいろな側面からの支援が必要。家族だけでなく、みんなで子育ての環境や仕組みづくりを考えていくことが大切です。



家族と子どもへの支援のイメージ図



地域の子どもが集まる場
子ども食堂

NPO法人や地域の団体が、子どもたちに無料・低額で温かい食事や安心して過ごせる場を提供する子ども食堂。子どもたちの学びや体験の場、地域で子どもを育て、見守る場としても注目されています。

カオカオ
西区の「西野こども食堂kaokao」にお邪魔しました



いつも30人ほどの子どもたちがご飯を食べたり、友達と遊んだりして、にぎやかですよ。昔に比べて、子どもが地域の大人と出会う機会が減っていると感じる中、子どもたちと一緒に親戚のように過ごしているのがうれしいです。

kaokaoの運営に携わる

おおした
大下 なつえさん(写真右)



ご飯もとってもおいしいし、違うクラスや学年の友達と遊べるので、食堂が始まった2年くらい前からほぼ毎週来ています。今日は大下さんに毛糸の編み物を教えてもらいました。食堂の人たちとお話するのも楽しいです!



こばやし ゆう な
kaokaoを訪れていた 小林 有那さん

この日のメニュー

- ・野菜たっぷりのシチュー
- ・キュウリとカブの漬物
- ・こんにやくの甘辛煮
- ・バナナとミカン



西野こども食堂kaokaoの詳細はこちら

日時・所在地 毎週水曜14時～20時。西区西野8の9

対象・費用 子ども300円、大人500円

申込 当日直接会場へ

詳細 西野厨房だんらん☎671-1443

※駐車場はありません



◀玄關のkaokaoと書かれたのれんが開催日の目印です

支える 子どもの居場所を支援

子ども食堂や子どもの居場所づくりに取り組む団体の活動を、寄付やボランティアで支援できます。ガイドブックには、運営している方々の思いや声も掲載。ぜひご覧ください。

札幌市 子ども食堂 ガイドブック 検索



全ての子どもが夢と希望を持って成長できる街に

市は、困難を抱える家庭や子どもに必要な支えが届くように、相談支援体制をいっそう充実させていきます。しかし子どもが成長していく過程では、身近に安心できる居場所や信頼できる存在が必要です。札幌の未来をつくる子どものために、できることから始めてみませんか。

子どもに寄り添う取り組み

このページでは、子どもの成長を優しく見守り、支える取り組みを紹介します。



ひとり親家庭の子どもの学習をサポート

まなトピア

ボランティア講師が週に1度、一人一人のペースに合わせて勉強をお手伝い、楽しく学びながら、学習習慣を身に付けられるよう支援します。



学校の授業で分からなかったところの質問や進路の相談を受けています。初めて来た子には、雰囲気になじめるように、特に積極的に話し掛けるようにしていますよ。難しい問題が解けたときの子どもたちの笑顔を見ると、やっつけて良かったなと思います。勉強が楽しいと感じてもらって、家での学習習慣につながってほしいですね。

やすだ ゆういちろう

大学生ボランティア 安田 有一朗さん



まなトピアを利用したい方はこちら

日時・場所 右表の通り

対象・費用 ひとり親家庭の小学3年～中学生。無料

申込 事前に☎の上、当日直接会場へ。見学も可

申込先・詳細 市母子寡婦福祉連合会(中央区大通西19社会福祉総合センター内)☎631-3270、ホームページwww.satsuboren.or.jp/hitorioya

※大学生らのボランティアスタッフも募集しています。詳しくは市母子寡婦福祉連合会まで

| 区 | 会場 | 時間 | 曜日 |
|----|--------------------|---------------|----|
| 中央 | 社会福祉総合センター内(大通西19) | 13時30分～15時30分 | |
| 北 | 麻生団地集会所(麻生町4) | 13時～15時 | 土曜 |
| 東 | 東区民センター(北11東7) | 13時30分～15時30分 | |
| 白石 | 東白石児童会館(本通13南) | 18時～20時 | 日曜 |
| 厚別 | 厚別区民センター(厚別中央1の5) | | |
| 豊平 | 豊平区民センター(平岸6の10) | 9時30分～11時30分 | |
| 清田 | 清田区民センター(清田1の2) | | 土曜 |
| 南 | 南区民センター(真駒内幸町2) | 13時30分～15時30分 | |
| 西 | 西区民センター(等似2の7) | | |
| 手稲 | いなづま児童会館(前田4の4) | 18時45分～20時45分 | |

若者の活動や悩み相談の場

若者支援総合センター

スタッフが子どもや若者のやりたいことを応援し、一緒に困り事の解決を目指す施設。1階は自習可能なフリースペースがあるほか、2階では人間関係や進路の悩み相談に応じます。

家や学校で伸び伸びと過ごせていない方には、ほかにも居場所を見つけてほしいという思いで活動しています。センターには、ふらっと立ち寄り方もたくさんいますし、将来の目標がないなどの悩みを抱えて個別相談に来る方もいますよ。まずは気軽に来てみてくださいね。



若者支援 総合センター まつだ こう 館長

若者支援総合センターを利用したい方はこちら

日時 ①1階フリースペースは10時～22時(年末年始、休館日を除く)、②2階相談窓口は月曜～土曜10時～18時(祝・休日、年末年始、休館日を除く)。相談は1回約45分

申込 ①は当日直接会場へ。②は事前に☎223-4421、Eメールsapporo-saposute@syaa.jpで予約が必要

対象・費用 ②は15歳～39歳の方と家族。いずれも無料

所在地・詳細 若者支援総合センター(中央区南1東2大通バスセンタービル2号館内)☎223-4421